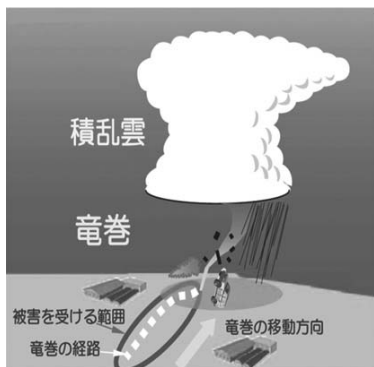


# 「竜巻注意情報」って何？



竜巻のイメージ図

胆振・日高地方は、北海道の中でも竜巻などの激しい突風（以下竜巻など）の発生数が多い地域です。年間の約半分程度が秋に集中しています。

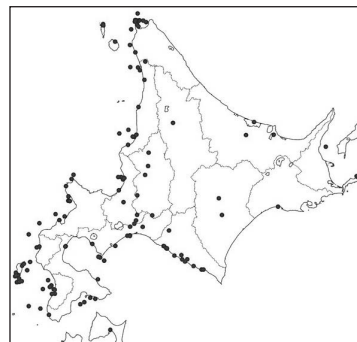
竜巻は積乱雲に伴う激しい空気の渦巻きでひとたび発生すると、人命に関わる大きな災害の起こる可能性があります。気象台では、竜巻などが予想される場合には、「雷と突風に関する気象情報」や「雷注意報」「竜巻注意情報」を発表します。「竜巻発生確度ナウキャスト」では、詳細な分布と約1時間先までの予報を提供しています。

発達した積乱雲が近づく兆しは、真

っ黒い雲が近づいて周囲が急に暗くなったり、冷たい風が吹き出したり、雷の音が聞こえたり、雷が光るのが見えたりします。

竜巻から身を守るには、屋外では、頑丈な建物の中や頑丈な構造物の物陰に隠れて身を小さくしてください。また屋内ではカーテンを閉め窓から離れて、1階の丈夫なテーブルなどの下に入って頭を守るなど、身の安全を確保してください。

詳しくは「気象庁 eラーニング」で検索、または右記QRコードからアクセスしてご覧ください。



北海道の竜巻分布図



問い合わせ先：総務課 危機管理室 ☎ 85-3080

## 負傷者を防災ヘリで救出！ 道防災ヘリと町消防が合同訓練



山菜採り最中に滑落した負傷者を救助隊が救出、道防災ヘリが白翔中グラウンドまで搬送し救急隊に引き継ぐ訓練内容。町消防職員約30人が参加。しらおい防災マスター会メンバーも8人ほどが見学に訪れました。



丘珠空港を飛び立った道防災ヘリが約25分で、現場に想定した萩の里自然公園西側上空に到着。負傷者役の消防隊員を発見した救助隊が、一つ一つの手順を慎重にクリアしながら、ストレッチャーに乗せ、斜

面をロープで引き上げ平地に移動。ヘリがホバリングでピックアップし白翔中グラウンドに着陸、救急車で待機していた救急隊に引き継ぎました。町内では登山、山菜取りの捜索・救助事案が過去5年で9件発生していることから、町消防は「万一に備えた実践的な訓練」と意義を話していました。

